

Q.17

一番の生きがいは何ですか？

地域の子どもとふれあうこと

自分が楽しみながらやっていければ満足という性格ですからね。今は、ここ（デイサービス）へ来て、勝手に自分の場所つくってますけど。（下校児童が立ち寄り）子ども、可愛いですよ。今の子どもたちって、明るさや強さをみんな持っているんじゃないかな。こういう（地域の）中で、子どもが育っていくっていうのは良いと思う。子どもは神様ね。

Q.18

元気の秘訣は何でしょうか？

おしゃべり

私、おしゃべりでしょ（笑）。おしゃべりってことは、人とのつながりも深くしていけるし、広がっていく。形式的なつながりじゃなくて、受け入れる気持ちっていうのがあると、だんだん、お互いに親密になっていくっていうことがありますから。

Q.19

生きていく上で、大切にしている考えはありますか？

みんなに意見を聞くこと

80にもなったら、認知症にかかるのも当たり前じゃない？ 人生は筋書き通りにはなかなかいかないけど。戸惑うことでも、みんなに意見を聞いたりしたら、失敗しないでいけるものです。どのようなことがあっても、人を憎んじやだめだし、やっぱり笑って生きていないといけないね。そしたら、向こうも笑い返してくれるから。

Q.20

認知症の人に接するとき大切なことは何ですか？

その人の気持ちが本当に受け入れられることが大事

一言、かけてあげたいことは、いっぱいあります。結局、気持ちが受け入れられると、そういう悩みがすんと、変わってくるんですよ。理屈じゃないからね。誰かの悩みだと思って相談しても、本当は自分の悩みが半分以上あったりね。人間って、そう違うものじゃなくて、みんな同じような、近いものを持つてる集団なんじゃないかなって思います。やっぱり、その人の気持ちが本当に受け入れられることが大事なんじゃないですか。

17～20の質問に答えてくれた方

伊藤さつきさん

1931年生まれ。保健師、学校の養護教諭として長年子どもたちの成長を見守った。現在は、デイサービスの利用者や職員にとって、お母さんの存在で慕われている。

まちだアイ・ステートメント2

私は、必要な支援の選択肢を幅広く持ち、自分に合った支援を選べる。

→ p.14



① デイサービスの仲間とコーヒータイム。お母さんの存在の伊藤さんの様子を見つめる姿も。
② さりげなく周囲に語りかける伊藤さん。「ここが私の居場所」と語る。
③ 帰宅時に立ち寄る児童もいる駄菓子屋さん。子どもとの会話が伊藤さんの楽しみ。

もっと聞きたい interview

人との関わりのなかからあったかいものとか、湧いてくる

困っていると周りが助けてくれた

松本 今は、どんな暮らしをしていますか？

伊藤 今は、気軽にここ（デイサービス）へ遊びに来て、お互いに励ましあっているけど。ここは子どもが遊びにきて楽しい。今の子どもって、すでに出来上がってるものがいっぱいあるなって思うんですよ。

松本 伊藤さんは、どんな子ども時代でしたか？

伊藤 山に囲まれた田舎で生まれて、子どもの時は兄弟が多くて下の子のお守りをしてました。親は働くのに忙しくてね。気がついた子が、弱い子を助けるというのは、田舎の風習みたいなものだったわね。

松本 保健師、学校の養護教諭もされていたそうですね。

伊藤 困っている人がいたら、道で歩いている時でも「大丈夫？」って声をかけたくなる、そういうものは持っていたと思います。子どもの頃から、自分が困っていると、友達が助けてくれたしね。男の子も女の子も、不良も助けてくれたわ。

松本 学校の保健室の先生に、ぴったりです。

伊藤 お腹が痛いとか言って、サボろうとする不良の子どもがいてね（笑）。そういう子は、家でも冷たくされているでしょう。心の病っていうのは誰でもあるものだから。人間ってね、厳しさも必要だけど、何でも受け入れてあげて、安心することも大切だから。

人として付き合いえばお互いに救われる

松本 ここでは、“お母さん”的存在だそうですね。

伊藤 ここでは、堅苦しい肩書きをださないで、人間として付き合うでしょ。こういう風に生きていく方法があるんだな、というのを思いますね。こうして親しく付き合っているうちに、お互いに救われる部分があるんですよ。学校の保健室でも、ここでもね。

松本 誰しも、自分がここに居ていいんだと思える場所があることで、安心できますものね。

伊藤 私は、家族や親戚に恵まれて、楽しい思い出がいっぱいあります。生まれ合わせも良かったんだろうね。人と人って、長く付き合いえば、いい所を引き出したり、悪い関係になれば、メチャクチャになっちゃう。自分がいい人生を引き継がせてもらったからこそ、いい人生を引き継ぎたいということかしら。

松本 認知症になったことで、周囲の偏見や差別を受けて傷つく人もいます。

伊藤 私の場合、認知症っていう自覚がないから、怖くもないのかも（笑）。まあ、一日一日だわね。

焦らずに、その人の気持ちを受け入れることで、人との関係って育つと思う。人間って、聞き逃してはいけない貴重なものを、何だかんだ持っているもの。それを感じるとやっぱり、お互いに嬉しいものよ。